

第6章 地元商業施設に対する消費者の意識

1 地元商店街利用回数

地元商店街を利用する回数は、県全体で上昇しているが（前回 72.3%から今回 73.5%）、
「週に2～3回以上」の多頻度利用は下降している（前回 35.2%から今回 33.1%）
（図表6-1-1参照）。

地区別にみると、「利用する」比率が最も高いのは、秩父地区が84.4%と突出しており、
低いのは北部Ⅱ地区（69.0%）、北部Ⅰ地区（69.4%）である。

図表6-1-1 地元商店街を利用する回数 (%)

項目 地区	利用する							利用しない	無回答	合計
	ほとんど毎日	週に4～5回 くらい	週に2～3回 くらい	週に1回 くらい	月に1～2回 くらい	年数回	小計	ほとんど買物 しない		
1.京浜東北	8.9	9.2	16.2	12.6	15.2	10.7	72.8	23.7	3.5	100.0
2.東部Ⅰ	9.5	10.0	16.4	14.6	14.9	9.2	74.6	21.3	4.2	100.0
3.東部Ⅱ	6.3	7.0	15.8	13.2	17.0	16.3	75.6	20.1	4.3	100.0
4.西部Ⅰ	9.3	8.1	16.7	14.0	15.1	10.3	73.5	22.7	3.8	100.0
5.西部Ⅱ	7.3	8.2	16.4	12.5	16.4	13.1	73.9	22.2	3.9	100.0
6.北部Ⅰ	5.2	6.5	14.1	12.4	16.8	14.4	69.4	27.0	3.7	100.0
7.北部Ⅱ	3.6	4.9	13.7	15.3	17.3	14.2	69.0	26.3	4.6	100.0
8.秩父	10.4	13.2	26.2	16.6	11.3	6.7	84.4	12.5	3.2	100.0
県全体	8.2	8.6	16.3	13.4	15.5	11.5	73.5	22.7	3.8	100.0
				40.4						
平成7年 (前回)	7.5	6.4	21.3	37.1			72.3	26.8	0.9	100.0

地元商店街を利用する比率の高い市町村の第1位は、秩父地区の皆野町(92.4%)で、上位10市町村中、5町村が新規である。「地元商店街でほとんど買物をしない」と回答した比率の高い市町村の第1位は、秩父地区の大滝村(53.8%)である(図表6-1-2、図表6-1-3、図表6-1-4参照)。

図表6-1-2 地元商店街を利用する
比率の高い市町村 (%)

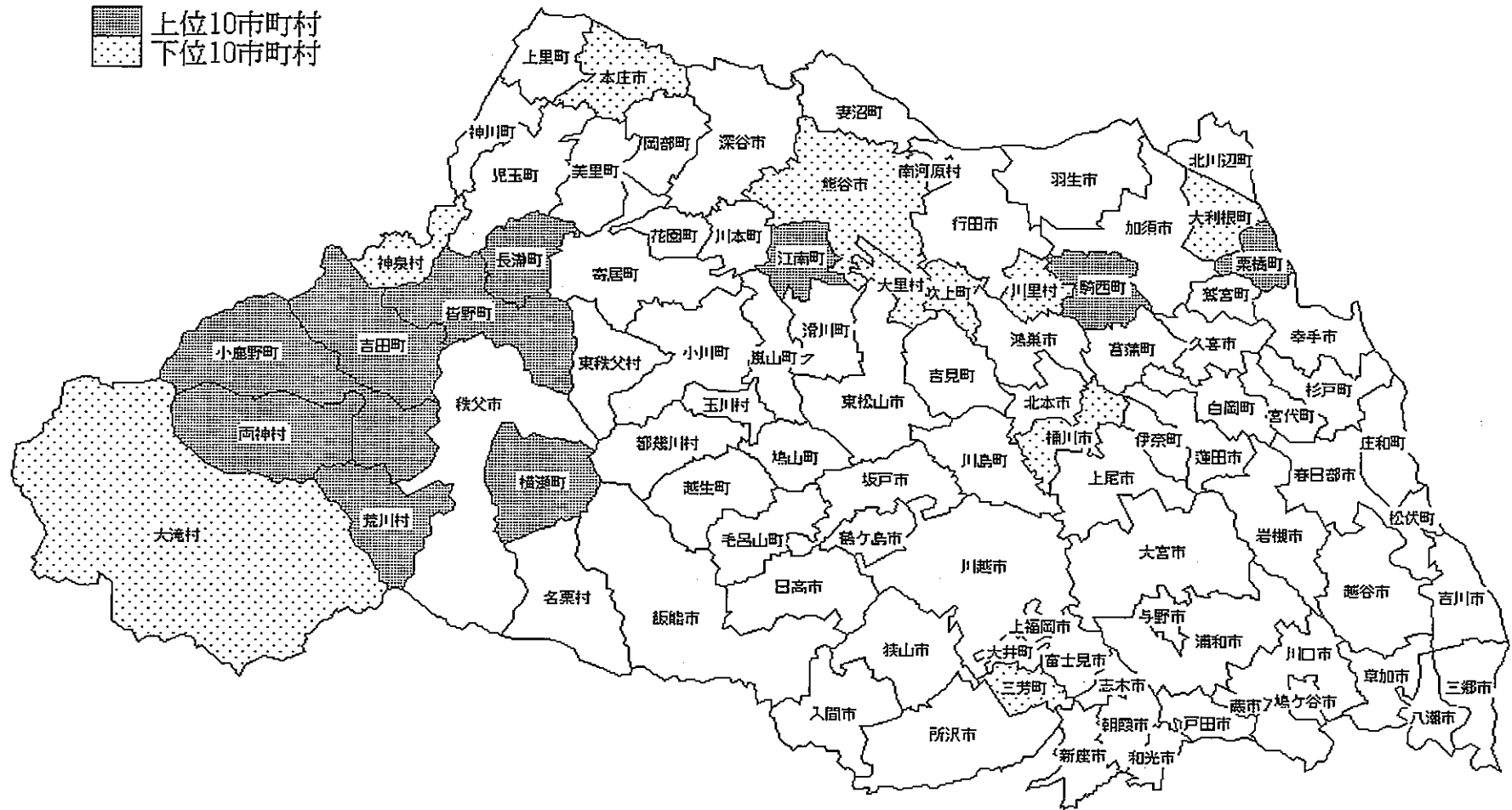
順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	3	皆野町	92.4	秩父
2	-	横瀬町	91.7	秩父
3	10	長瀨町	91.1	秩父
4	-	荒川村	89.8	秩父
5	2	両神村	88.3	秩父
6	1	小鹿野町	87.4	秩父
7	-	江南町	86.2	北部I
8	-	吉田町	86.1	秩父
9	-	栗橋町	85.3	東部II
9	9	騎西町	85.3	東部II

図表6-1-3 地元商店街を利用しない
比率の高い市町村 (%)

順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	-	大滝村	53.8	秩父
2	10	大里村	48.3	北部I
3	-	神泉村	42.9	北部II
4	7	本庄市	38.1	北部II
5	-	吹上町	37.2	京浜東北
6	-	三芳町	36.2	西部I
7	-	川里村	35.8	北部I
8	2	熊谷市	33.6	北部I
9	-	桶川市	33.5	京浜東北
10	-	大利根町	33.0	東部II

※「ほとんど毎日」～「年数回」までの合計した比率

図表6-1-4 地元商店街利用比率上位10市町村及び下位10市町村



2 地元商店街を利用しない理由

地元商店街をあまり利用しない消費者（利用回数が月に1～2回くらい以下）が、地元商店街を利用しない理由の上位項目は、「1ヶ所で買物が済まない」（56.4%）、「品揃えが少ない」（35.9%）、「駐車場がない」（33.9%）、「価格が高い」（30.5%）である（図表6-2-1参照）。

地区別に上位項目の特徴をみると、「1ヶ所で買物が済まない」では秩父地区が46.5%と低く（県全体では56.4%）、「品揃えが少ない」では秩父地区が49.5%と高く（県全体では35.9%）、「駐車場がない」では秩父地区が23.5%と低く（県全体では33.9%）、「価格が高い」では西部Ⅰ地区が24.8%と低い（県全体では30.5%）。

図表6-2-1 地元商店街を利用しない理由（複数回答） (%)

項目 地区	魅力ある商品がない	品揃えが少ない	品質・鮮度がよくない	価格が高い	1ヶ所で買物が済まない	接客態度がよくない	商品情報が乏しい	店に入りにくい	店の雰囲気が悪い	店に清潔感がない	閉店時刻が早い	駐車場がない	休憩場所がない	無回答
1. 京浜東北	22.5	34.1	8.3	31.2	58.2	2.1	6.4	22.2	4.6	3.2	3.4	31.9	1.2	6.6
2. 東部Ⅰ	22.2	33.9	8.1	32.0	58.4	2.5	6.7	22.4	4.6	3.9	4.0	30.1	1.5	6.5
3. 東部Ⅱ	33.0	38.5	10.2	31.3	57.2	2.5	6.5	19.2	4.5	2.5	3.6	36.8	0.7	4.9
4. 西部Ⅰ	23.0	32.9	11.5	24.8	56.8	1.9	7.4	20.1	4.8	4.2	3.3	35.0	1.0	7.3
5. 西武Ⅱ	27.3	39.8	10.9	31.5	54.8	2.1	6.9	17.6	3.8	2.8	4.0	34.5	1.0	6.3
6. 北部Ⅰ	25.5	37.4	13.8	32.7	52.0	2.4	7.3	17.1	4.1	4.6	3.7	39.2	0.7	5.2
7. 北部Ⅱ	29.8	42.3	18.3	30.3	53.3	2.3	7.3	12.3	5.8	2.8	3.3	41.5	1.5	5.5
8. 秩父	31.5	49.5	20.0	36.5	46.5	3.0	5.0	9.0	2.0	1.5	2.0	23.5	1.0	6.0
県全体	24.8	35.9	10.5	30.5	56.4	2.2	6.8	19.9	4.4	3.5	3.6	33.9	1.1	6.3

「1ヵ所で買物が済まない」を挙げた市町村の第1位は、神泉村(91.7%)である。

図表6-2-2 「1ヵ所で買物が済まない」を挙げた比率の高い市町村(%)

順位	市町村	比率	地区
1	神泉村	91.7	北部Ⅱ
2	横瀬町	81.8	秩父
3	三芳町	75.0	西部Ⅰ
4	庄和町	68.3	東部Ⅰ
5	上福岡市	67.4	西部Ⅰ
6	宮代町	67.3	東部Ⅰ
7	騎西町	65.2	東部Ⅱ
8	戸田市	65.1	京浜東北
9	久喜市	64.3	東部Ⅱ
10	菫蒲町	63.6	東部Ⅱ

「品揃えが少ない」を挙げた市町村の第1位は、両神村(91.7%)である。

図表6-2-3 「品揃えが少ない」を挙げた比率の高い市町村(%)

順位	市町村	比率	地区
1	両神村	91.7	秩父
2	神泉村	83.3	北部Ⅱ
3	玉川村	77.8	西部Ⅱ
4	皆野町	72.7	秩父
5	鳩山町	71.9	西部Ⅱ
6	美里町	66.7	北部Ⅱ
7	岡部町	64.1	北部Ⅰ
8	川里村	62.7	北部Ⅰ
9	吉田町	61.5	秩父
10	都幾川村	60.0	西部Ⅱ
10	南河原村	60.0	北部Ⅰ

「駐車場がない」を挙げた市町村の第1位は、毛呂山町(59.6%)である。

図表6-2-4 「駐車場がない」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	毛呂山町	59.6	西部Ⅱ
2	児玉町	56.8	北部Ⅱ
3	上福岡市	55.8	西部Ⅰ
4	本庄市	55.6	北部Ⅱ
5	飯能市	55.0	西部Ⅱ
6	寄居町	52.5	北部Ⅰ
7	小川町	52.3	西部Ⅱ
8	鴻巣市	51.9	京浜東北
9	東松山市	51.0	西部Ⅰ
10	行田市	50.5	北部Ⅰ

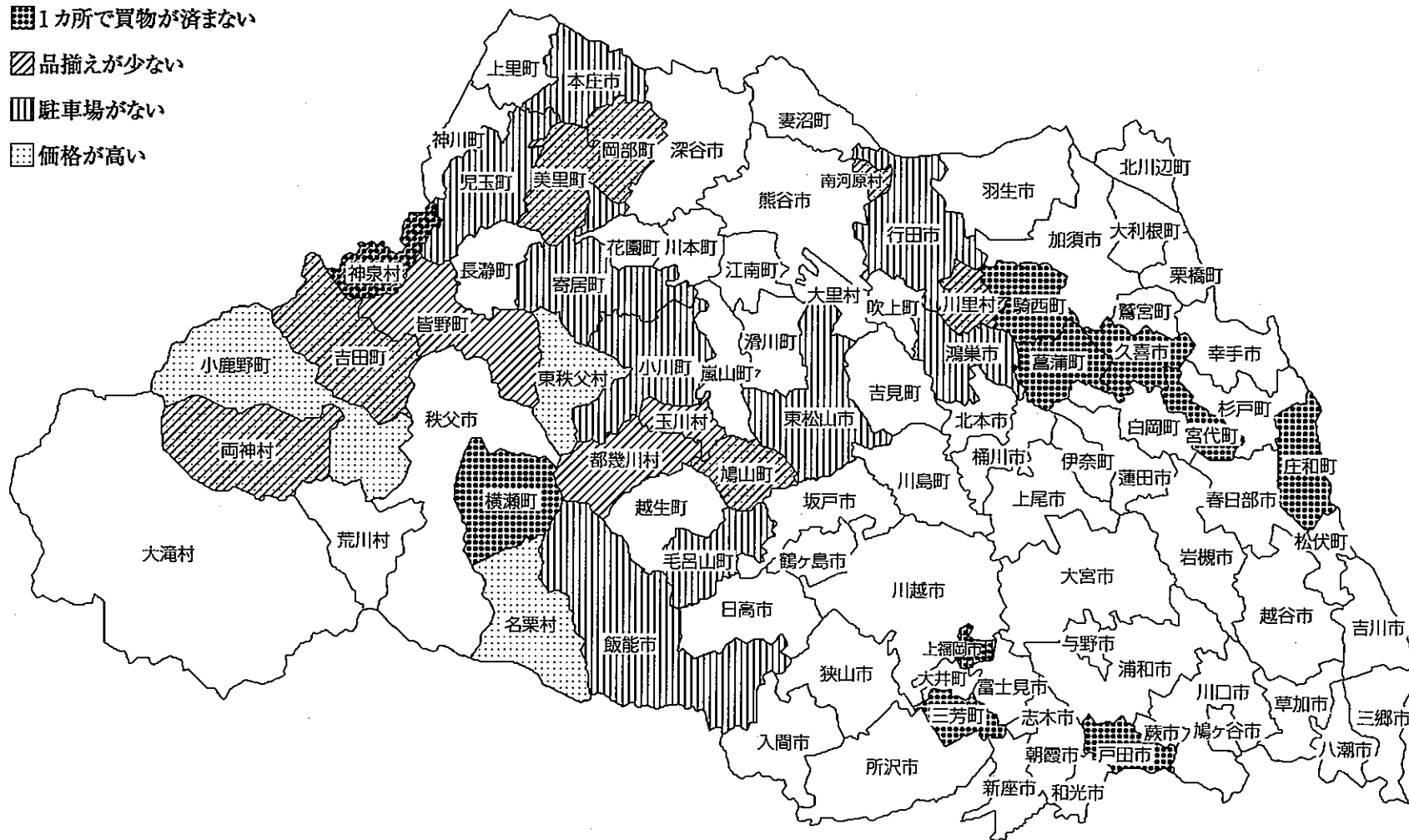
「価格が高い」を挙げた市町村の第1位は、南河原村(80.0%)である。

図表6-2-5 「価格が高い」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	南河原村	80.0	北部Ⅰ
2	両神村	66.7	秩父
3	名栗村	64.3	西部Ⅱ
4	鳩山町	50.0	西部Ⅱ
5	川里村	49.0	北部Ⅰ
6	美里町	47.6	北部Ⅱ
7	吉田町	46.2	秩父
7	岡部町	46.2	北部Ⅰ
9	東秩父村	45.5	西部Ⅱ
10	小鹿野町	42.9	秩父

図表6-2-6 地元商店街を利用しない理由（4項目）上位10市町村

- 1カ所で買物が済まない
- ▨ 品揃えが少ない
- ▤ 駐車場がない
- ▧ 価格が高い



3 地元商店街を魅力的にするために

「消費者が地元商店街を魅力的にするために重要だと考えること」という設問については、30.6%の無回答があるが、回答者に限ってみれば、重要だと考えていることは、県全体でみると「駐車・駐輪場の整備充実」(29.4%)、「スタンプやカードサービスの充実」(18.9%)、「大型商業施設の設置」(15.3%)、「豊かな生活を送れる商品情報の提供」(15.3%)であり、ソフト・ハード両面での充実が求められている(図表6-3-1参照)。

前回と比較すると、要望割合の高くなっているものは、わずか1項目「スタンプやカードサービスの実施」(前回12.5%から今回18.9%と+6.4%)であり、その他の項目は低くなっている。中でも前回第1位の「駐車・駐輪場の整備・充実」及び第2位の「街路灯やカラー舗装などの環境整備」への要望が弱まっている。

地元商店街を魅力的にするための各項目への要望割合が減少したため、地区格差は少なくなっている。

また、今回の特徴として無回答が大幅に増え3割を超えたことがある。消費者の商店街への関心が薄れているためであろうか。

図表6-3-1 消費者が地元商店街を魅力的にするために重要だと考えること(複数回答) (%)

項目 地区	情報の提供(新規項目) 生活に密着した地域	情報の提供(新規項目) 豊かな生活を送れる商品	街路灯やカラー舗装 などの環境整備	催事・イベント などの実施	サービスの実施 スタンプやカード	閉店時刻の延長 営業日数の増加や	大型商業施設の設置	駐車・駐輪場の 整備充実	無回答
1.京浜東北	12.9	15.6	7.9	8.7	18.7	10.4	13.8	29.1	30.2
2.東部Ⅰ	11.3	15.1	8.3	9.9	21.4	11.3	13.1	28.1	29.6
3.東部Ⅱ	10.6	14.1	7.0	7.2	15.9	9.6	20.4	32.4	31.3
4.西部Ⅰ	11.8	13.4	7.9	8.2	20.8	9.3	14.6	30.8	30.5
5.西部Ⅱ	11.6	16.0	7.6	8.0	18.0	8.6	16.3	29.8	30.6
6.北部Ⅰ	9.5	16.2	6.7	7.3	15.1	9.1	16.6	28.9	35.1
7.北部Ⅱ	11.6	17.6	4.8	6.4	11.3	7.5	19.7	27.3	34.1
8.秩父	9.7	20.5	5.2	9.7	25.7	15.2	19.6	26.3	21.9
県全体	11.6	15.3	7.6	8.4	18.9	10.0	15.3	29.4	30.6
平成7年 (前回)	—	—	28.0	18.9	12.5	17.0	26.4	52.6	2.1

「駐車・駐輪場の整備充実」を挙げた市町村の第1位は、飯能市(41.0%)であり、上位10市町村中、6市町は新規である。

図表6-3-2 「駐車・駐輪場の整備充実」を挙げた比率の高い市町村(%)

順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	3	飯能市	41.0	西部Ⅱ
2	—	羽生市	39.8	東部Ⅱ
3	8	本庄市	39.4	北部Ⅱ
3	—	上福岡市	39.4	西部Ⅰ
5	—	桶川市	39.3	京浜東北
6	5	秩父市	38.3	秩父
7	—	吹上町	38.0	京浜東北
8	—	庄和町	37.8	東部Ⅰ
9	—	加須市	37.4	東部Ⅱ
10	9	深谷市	37.3	北部Ⅰ

「スタンプやカードサービスの実施」を挙げた市町村の第1位は、荒川村(41.0%)であり、上位10市町村中、7市町村は新規である。

図表6-3-3 「スタンプやカードサービスの実施」を挙げた比率の高い市町村(%)

順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	—	荒川村	41.0	秩父
2	—	横瀬町	33.3	秩父
3	—	小鹿野町	31.0	秩父
4	—	皆野町	28.3	秩父
5	1	江南町	27.5	北部Ⅰ
6	—	川島町	27.3	西部Ⅰ
7	—	三郷市	27.2	東部Ⅰ
8	3	長瀨町	26.8	秩父
9	—	春日部市	26.7	東部Ⅰ
10	9	富士見市	25.2	西部Ⅰ

「大型商業施設の設置」を挙げた市町村の第1位は、吉見町(42.6%)であり、上位10位の市町村中、9町村は新規である。

図表6-3-4 「大型商業施設の設置を挙げた比率の高い市町村」 (%)

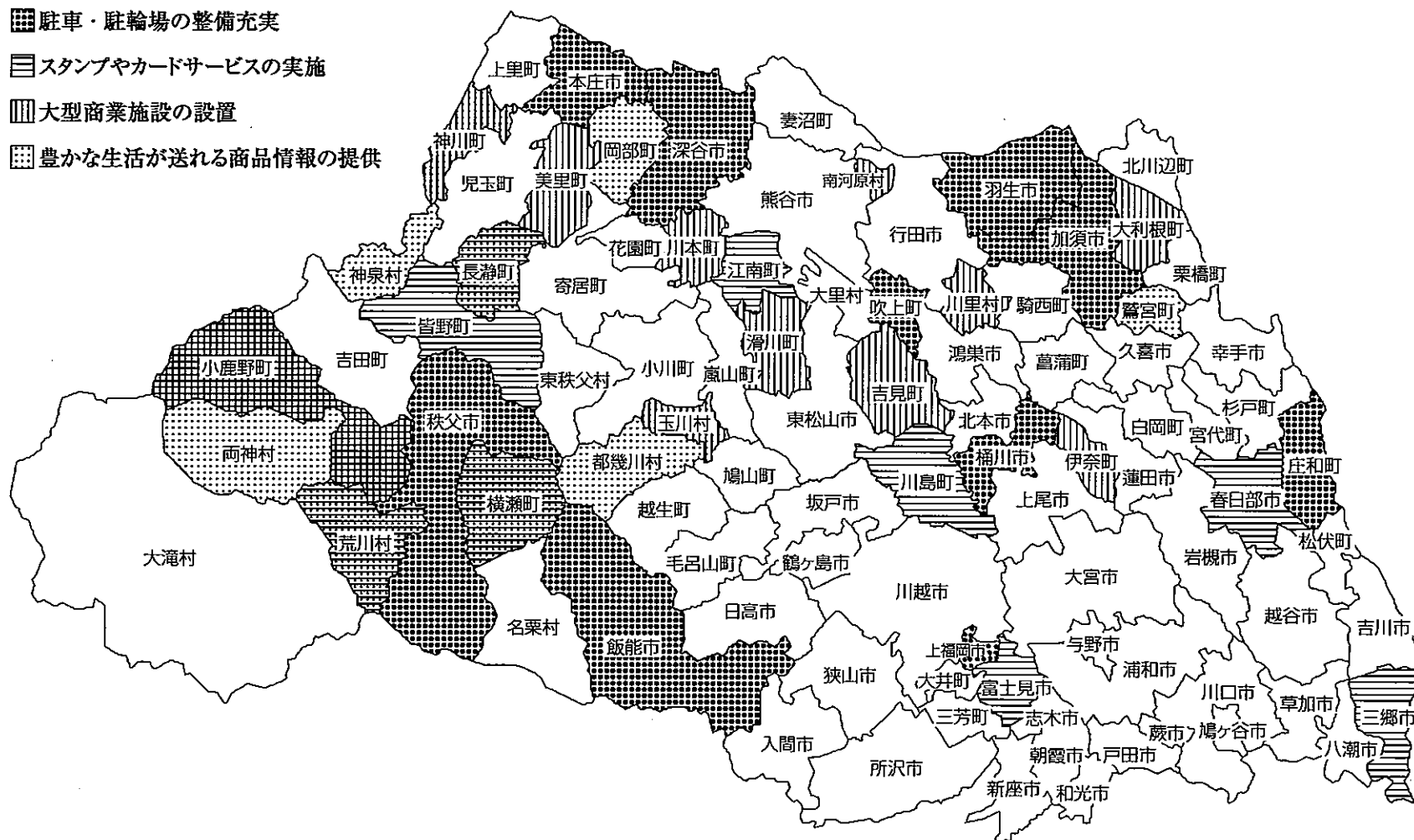
順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	—	吉見町	42.6	西部Ⅰ
2	—	滑川町	41.8	西部Ⅰ
3	—	南河原村	40.9	北部Ⅰ
4	—	川里村	38.8	北部Ⅰ
5	—	玉川村	37.0	西部Ⅱ
6	—	川本町	36.7	北部Ⅰ
7	—	小鹿野町	33.8	秩父
8	—	神川町	32.4	北部Ⅱ
9	—	大利根町	32.0	東部Ⅱ
10	9	伊奈町	29.6	京浜東北
10	—	美里町	29.6	北部Ⅱ

「豊かな生活を送れる商品情報の提供」を挙げた市町村の第1位は、神泉村(35.7%)であり、上位は、北部、秩父地区の町村が多い。

図表6-3-5 「豊かな生活を送れる商品情報の提供」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1		神泉村	35.7	北部Ⅱ
2		都幾川村	29.6	西部Ⅱ
3		岡部町	28.7	北部Ⅰ
4		神川町	28.4	北部Ⅱ
5		荒川村	28.2	秩父
6		横瀬町	27.8	秩父
7		長瀬町	26.8	秩父
8		両神村	26.5	秩父
9		玉川村	25.9	西部Ⅱ
10		鷲宮町	24.4	東部Ⅱ

図表6-3-6 地元商店街を魅力的にする施策（4項目）上位10市町村



4 身近に欲しい買物施設・機能

(1) 消費者が身近に欲しい買物施設

上位の項目は、県全体では「総合スーパー」(43.3%)、「ディスカウントストア」(32.0%)、「百貨店」(20.7%)である(図表6-4-1参照)。

前回と比較すると上位3項目に変動はないものの、要望割合は下がってきている。逆に、「食品スーパー」(前回11.6%から今回13.0%と+1.4%)、「コンビニエンスストア」(前回10.5%から今回11.3%と+0.8%)が若干増加している。

地区別にみると、要望比率が最も高いのは、秩父地区での「総合スーパー」(57.8%)である。

図表6-4-1 身近に欲しい買物施設(複数回答) (%)

地区	年	項目	一般の商店	生協	百貨店	総合スーパー	食品スーパー	コンビニエンスストア	ディスカウントストア	郊外型専門店	ホームセンター	ドラッグストア	無回答
1. 京浜東北	平成12年		5.8	10.2	19.1	46.0	13.9	11.8	31.3	10.4	12.7	10.4	5.2
	平成7年		-	-	20.1	58.5	10.8	10.4	37.6	15.2	-	-	0.8
	平成4年		-	-	21.4	57.1	12.2	7.4	25.4	19.5	-	-	1.3
2. 東部Ⅰ	平成12年		5.8	12.5	27.2	36.2	12.6	10.9	31.6	13.8	11.7	8.4	5.6
	平成7年		-	-	30.9	51.5	10.7	9.6	32.9	17.5	-	-	0.6
	平成4年		-	-	31.3	51.4	11.9	7.4	25.1	20.7	-	-	1.1
3. 東部Ⅱ	平成12年		3.8	10.4	25.3	44.7	12.5	11.4	31.8	8.4	14.7	8.2	6.1
	平成7年		-	-	28.4	59.4	11.9	11.9	37.6	19.2	-	-	0.9
	平成4年		-	-	28.5	55.7	13.3	9.0	24.7	23.0	-	-	3.3
4. 西部Ⅰ	平成12年		5.9	12.0	19.2	40.2	12.0	12.2	31.4	11.5	15.4	12.0	5.7
	平成7年		-	-	23.8	53.7	9.6	10.6	38.2	17.3	-	-	0.6
	平成4年		-	-	24.2	56.0	11.4	7.4	26.5	20.7	-	-	1.0
5. 西部Ⅱ	平成12年		4.0	11.6	18.1	47.7	12.5	10.4	32.7	11.6	14.6	8.9	5.5
	平成7年		-	-	21.5	61.8	11.9	10.6	37.2	15.7	-	-	0.6
	平成4年		-	-	21.2	63.4	14.5	6.3	23.6	18.7	-	-	1.1
6. 北部Ⅰ	平成12年		3.3	11.2	18.4	40.6	15.4	11.6	35.2	9.7	11.9	13.7	5.6
	平成7年		-	-	20.8	60.3	16.5	12.5	33.8	17.2	-	-	0.8
	平成4年		-	-	20.6	60.2	20.0	10.9	21.5	19.9	-	-	1.2
7. 北部Ⅱ	平成12年		3.0	17.3	23.1	43.5	11.4	8.4	31.1	13.2	8.5	10.0	6.9
	平成7年		-	-	24.7	60.7	18.3	9.4	32.0	18.2	-	-	0.8
	平成4年		-	-	17.9	61.2	19.2	9.1	20.4	23.9	-	-	1.5
8. 秩父	平成12年		2.6	11.9	13.9	57.8	10.7	8.2	34.7	14.8	4.6	15.7	0.2
	平成7年		-	-	14.4	77.4	14.3	6.5	37.7	14.7	-	-	0.4
	平成4年		-	-	14.8	74.6	16.0	8.6	23.9	19.2	-	-	1.1
県全体	平成12年		5.0	11.4	20.7	43.3	13.0	11.3	32.0	11.3	13.0	10.4	5.4
	平成7年		-	-	23.4	57.8	11.6	10.5	36.4	16.6	-	-	0.7
	平成4年		-	-	23.7	57.6	13.4	7.8	24.7	20.3	-	-	1.3

「総合スーパー」を挙げた市町村の第1位は、伊奈町(72.8%)であり、上位10市町村中、6市町村が新規である。

図表6-4-2 「総合スーパー」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	—	伊奈町	72.8	京浜東北
2	—	滑川町	72.7	西部Ⅰ
3	1	東秩父村	72.2	西部Ⅱ
4	—	蓮田市	71.1	京浜東北
5	6	長瀨町	69.6	秩父
6	—	白岡町	68.5	京浜東北
7	—	両神村	67.6	秩父
8	—	鴻巣市	66.8	京浜東北
9	3	皆野町	66.3	秩父
10	8	菫蒲町	65.5	東部Ⅱ

「ディスカウントストア」を挙げた市町村の第1位は、横瀬町(44.4%)であり、上位10市町村中、8市町村が新規である。

図表6-4-3 「ディスカウントストア」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	3	横瀬町	44.4	秩父
2	—	富士見市	44.3	西部Ⅰ
3	—	吹上町	44.2	京浜東北
4	—	加須市	44.1	東部Ⅱ
5	—	騎西町	43.6	東部Ⅱ
6	—	三芳町	42.8	西部Ⅰ
7	—	長瀨町	41.1	秩父
8	—	寄居町	39.1	北部Ⅰ
9	—	東秩父村	38.9	西部Ⅱ
10	8	菫蒲町	38.8	東部Ⅱ

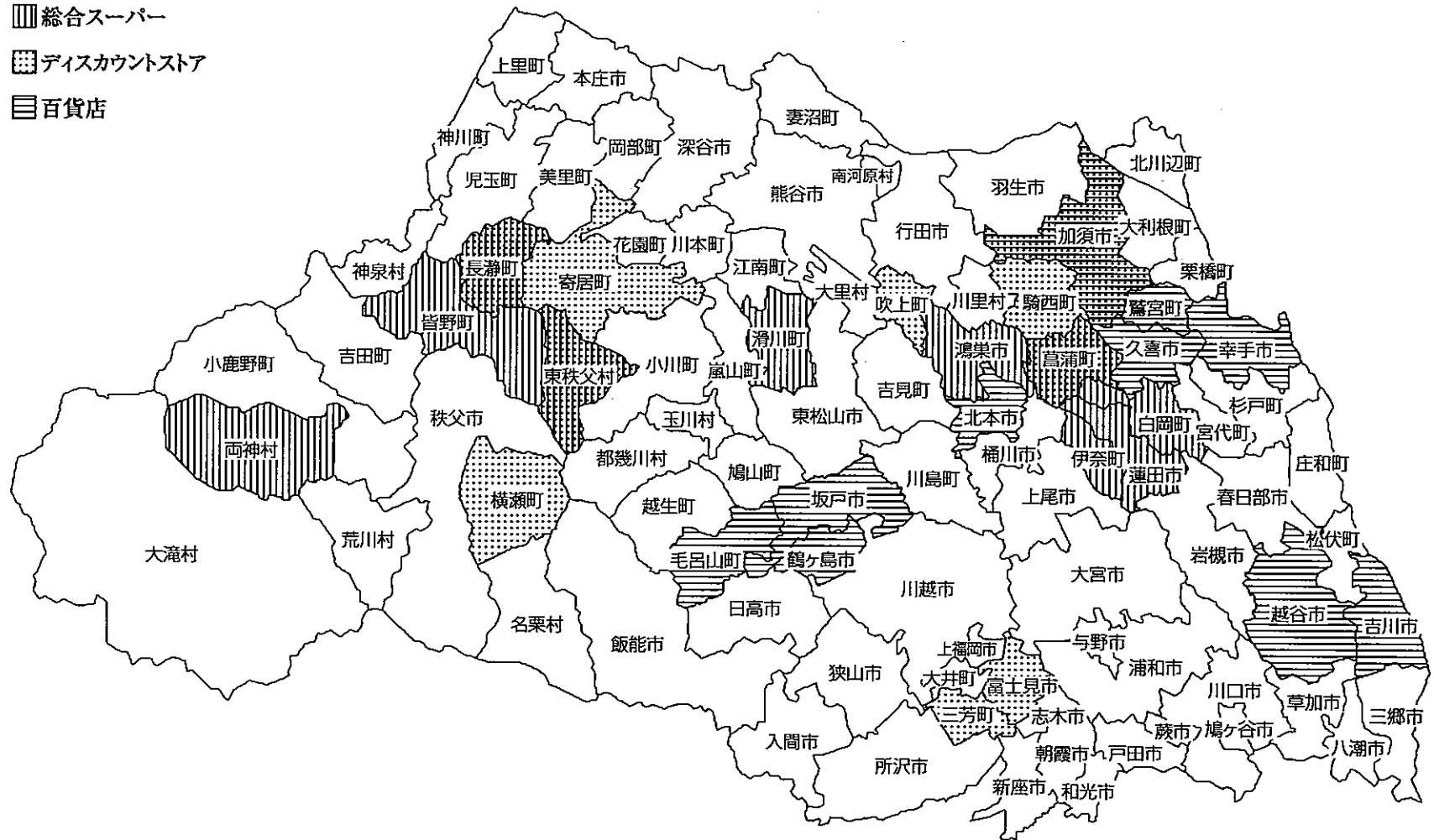
「百貨店」を挙げた市町村の第1位は、久喜市(36.3%)であり、上位10市町村は順位変動はあるものの、新規はわずか1市である。

図表6-4-4 「百貨店」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位		市町村	比率	地区
今回	前回			
1	—	久喜市	36.3	東部Ⅱ
2	2	越谷市	35.9	東部Ⅰ
3	1	鶴ヶ島市	35.8	西部Ⅰ
4	5	鷺宮町	34.6	東部Ⅱ
5	3	幸手市	33.2	東部Ⅱ
6	6	坂戸市	32.6	西部Ⅰ
7	4	吉川市	31.6	東部Ⅰ
8	8	北本市	30.7	京浜東北
9	9	加須市	30.6	東部Ⅱ
10	7	毛呂山町	29.5	西部Ⅱ

図表6-4-5 身近に欲しい買物施設（3項目）上位10市町村

- ▨ 総合スーパー
- ▤ ディスカウントストア
- ▧ 百貨店



(2) 買物施設に欲しい機能や付随施設

上位の項目は、県全体では「飲食サービス」(37.5%)、「レジャー機能」(36.9%)、「金融サービス機能」(33.2%)、「公共サービス機能」(23.4%)である(図表6-4-6参照)。

地区別にみると、最も要望が高いのは、秩父地区の「レジャー機能」(46.1%)である。「金融サービス機能」では北部Ⅰ、西部Ⅰ地区、「託児サービス」では、北部Ⅱ地区、「公共サービス機能」では、東部Ⅰ地区が高いなど、地域差が認められる。

図表6-4-6 買物施設に欲しい機能や付随施設(複数回答) (%)

区分 地区	飲食サービス	写真現像取次サービス	理美容サービス	クリーニング取次サービス	健康増進機能	レジャー機能	医療施設	金融サービス機能	宅配サービス	託児サービス	公共サービス機能	その他	無回答
1.京浜東北	38.8	2.0	2.2	2.7	9.2	35.3	7.5	33.7	4.1	10.2	25.5	1.8	5.0
2.東部Ⅰ	35.9	1.8	1.8	1.9	9.4	38.3	6.0	29.2	4.0	12.5	26.9	2.1	6.5
3.東部Ⅱ	41.9	1.8	1.9	2.8	13.5	40.5	6.6	33.3	3.4	9.6	17.8	1.1	5.9
4.西部Ⅰ	36.9	2.4	2.4	2.8	8.0	36.7	5.8	35.2	4.5	10.5	23.2	1.7	5.9
5.西武Ⅱ	38.0	1.9	3.2	2.7	9.2	37.2	6.9	33.2	3.7	10.6	21.7	1.4	5.7
6.北部Ⅰ	33.3	2.0	3.7	2.6	12.5	33.4	5.9	37.3	3.9	11.1	22.7	1.3	6.4
7.北部Ⅱ	34.2	1.9	1.4	2.6	12.0	36.3	5.3	31.6	4.9	16.6	18.6	0.9	7.1
8.秩父	39.3	1.8	3.5	3.5	8.7	46.1	8.1	27.2	3.7	15.5	11.4	0.3	6.1
県全体	37.5	2.0	2.4	2.6	9.7	36.9	6.6	33.2	4.0	11.1	23.4	1.6	5.8

「飲食サービス」を挙げた市町村は、第1位が神泉村(64.3%)、第2位が松伏町(56.5%)であり、東部Ⅰ、東部Ⅱ地区が上位10市町村中、半分を占める。

図表6-4-7 「飲食サービス」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	神泉村	64.3	北部Ⅱ
2	松伏町	56.5	東部Ⅰ
3	伊奈町	51.9	京浜東北
4	庄和町	51.4	東部Ⅰ
5	羽生市	51.0	東部Ⅱ
6	川里村	50.7	北部Ⅰ
7	栗橋町	50.0	東部Ⅱ
8	菖蒲町	48.9	東部Ⅱ
9	両神村	47.1	秩父
9	江南町	47.1	北部Ⅰ

「レジャー機能」を挙げた市町村は、第1位が玉川村(63.0%)、第2位が吉川市(61.7%)であり、西部Ⅱ地区が上位10市町村中、4町村を占める。

図表6-4-8 「レジャー機能」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	玉川村	63.0	西部Ⅱ
2	吉川市	61.7	東部Ⅰ
3	大滝村	61.5	秩父
4	横瀬町	55.6	秩父
5	越生町	54.0	西部Ⅱ
6	鷲宮町	53.5	東部Ⅱ
7	毛呂山町	51.8	西部Ⅱ
8	嵐山町	51.0	西部Ⅱ
9	川里村	50.7	北部Ⅰ
10	秩父市	50.4	秩父

「金融サービス機能」を挙げた市町村は、第1位が南河原村(54.5%)、第2位が川里村(47.8%)であり、北部I地区が上位10市町村中、4町村を占める。

図表6-4-9 「金融サービス機能」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	南河原村	54.5	北部I
2	川里村	47.8	北部I
3	入間市	44.7	西部II
4	宮代町	43.7	東部I
5	北川辺町	43.5	東部II
6	大里村	43.1	北部I
7	吉見町	42.6	西部I
8	川本町	41.7	北部I
9	桶川市	41.4	京浜東北
10	久喜市	40.6	東部II

「公共サービス機能」を挙げた市町村は、第1位が大井町(33.8%)、第2位が春日部市(32.5%)であり、東部I、京浜東北地区が上位10市町村中、6市町を占める。

図表6-4-10 「公共サービス機能」を挙げた比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	大井町	33.8	西部I
2	春日部市	32.5	東部I
3	草加市	32.4	東部I
4	越谷市	31.7	東部I
5	川口市	30.0	京浜東北
6	鶴ヶ島市	28.0	西部I
7	吹上町	27.9	京浜東北
8	大宮市	27.7	京浜東北
9	深谷市	27.6	北部I
10	本庄市	27.3	北部II

図表6-4-11 買物施設に欲しい機能や付随施設（4項目）上位10市町村

